

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	平成 28 年度第 1 回松阪市総合教育会議
2. 開 催 日 時	平成 28 年 11 月 24 日（木） 15 時 30 分～16 時 25 分
3. 開 催 場 所	松阪市役所 第 2 分館 教育委員会室
4. 出席者氏名	出席委員 竹上真人市長、伊藤和代教育委員長、山川隆志教育委員長職務代理者、鷺尾節子教育委員、竹内一教育委員、東博武教育長 事務局 加藤経営企画部長兼市長補佐官、橋爪経営企画部次長兼行政改革特命担当、榊原経営企画部経営企画課長、川上経営企画部経営企画課政策経営係長、松名瀬教育委員会事務局長、青木教育総務担当参事兼教育総務課長事務取扱、山本教育政策統括マネージャー兼学校支援課長事務取扱、青木教育ビジョン担当監、松林教育総務課長総務政策担当主幹
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	1 人（内、報道関係 1 社）
7. 担 当	松阪市経営企画部経営企画課 TEL 0598-53-4319 FAX 0598-26-4030 e-mail kei.div@city.matsusaka.mie.jp

- ・ 報告事項
 - （1）松阪市教育ビジョン（案）について
- ・ 協議事項
 - （1）教育施設の整備について

◎内容録は別添

平成 28 年度 第 1 回松阪市総合教育会議議事録（要約）

開催日時 平成 28 年 11 月 24 日（木） 15 時 30 分～16 時 25 分

開催場所 松阪市役所 第 2 分館 教育委員会室

出席委員 竹上真人市長、伊藤和代教育委員長、山川隆志教育委員長職務代理者、鷺尾節子教育委員、竹内一教育委員、東博武教育長

事務局 加藤経営企画部長兼市長補佐官、吉田経営企画部次長兼政策調整プロジェクトマネージャー、榊原経営企画部経営企画課長、川上経営企画部経営企画課政策経営係長、村林教育委員会事務局長、山本教育政策統括マネージャー兼学校支援課長事務取扱、橋爪教育総務課長、青木教育ビジョン担当監、松林教育総務課長補佐兼総務政策係長事務取扱

傍聴者 1 人（内、報道関係 1 社）

1. 市長あいさつ

竹上市長あいさつ

2. 教育委員長あいさつ

伊藤教育委員長あいさつ

【松阪市総合教育会議設置要綱第 4 条に基づき、竹上市長が議長となり進行】

《会議の公開・非公開の決定》

市長）協議に入ります前に、会議の長が委員の皆様にお諮りし、会議の公開・非公開を決定することとなっている。松阪市総合教育会議設置要綱では、会議は公開することとなっているが、非公開情報などが含まれる場合には、非公開とすることもできる。

本日は、現在策定を進めている松阪市教育ビジョン（案）の報告と、教育施設の整備についてご協議いただく予定である。本日の会議を公開させていただいてよろしいか。

《意義なし》

では、本日の会議は公開で開催する。

3. 報告事項

(1) 松阪市教育ビジョン（案）について

市長）報告事項の松阪市教育ビジョン（案）について、事務局より説明を求める。

（学校支援課より説明）

市長）松阪市教育ビジョン（案）について報告いただいたが、この件については、教育大綱に基づき、教育委員会において本年度中に策定していただくようお願いする。

4. 協議事項

(1) 教育施設の整備について

市長）続いて、協議事項の教育施設の整備について、ご協議願いたい。はじめに、小学校のプールのあり方に関する答申と、教室へのエアコン設置について、事務局より説明をお願いする。

（教育総務課より説明）

市長）事務局より、教育施設の整備について報告をいただいた。この件について、皆さんのお考えをお聞かせいただきたい。

プールのあり方に関する答申に対して、今後の方針を決めていく必要がある。まず、この件についてご意見をいただきたい。小学校のプールについては、夏休み期間中の地区水泳の問題があり、今後どうしていくべきかを含めて意見をいただきたい。この場で決定するわけではないので、答申に対するご意見をいただきたい。

委員）地区水泳については、PTAの運営も大変だと思うが、昔に比べて実施日が少なく、延べ参加者数も少ない。年々減少しているのではないか。PTAがどのような意見をお持ちか聞く必要がある。

委員）地区水泳については、保護者の負担がかなり大きい。子どもが減っている中で、また仕事を持ったうえで、地区水泳の監視に行かなければならない状況にある。センター方式を考えていく時期ではないか。

委員）民間施設を利用するメリットは、室内であることや安全管理体制が整っていることが挙げられる。デメリットとして、移動手段が問題となる。市内に利用できる施設はあるのか。使える学校があるのか検討する必要がある。

事務局) 民間プールは市内に5カ所ほどあり、移動を考えると10~15分で移動できないと授業に支障がでる。おのずと限られたエリアになる。ただ、大規模校では移動が困難になると考えられる。よって、児童生徒数と移動距離が大きく影響してくることが予測される。

委員) 多くの学校が築後、かなりの年数が過ぎており、老朽化による事故が心配される。どちらにしても改修は必要であるが、それに対するコストパフォーマンスを考えるべきで、それだけの価値を考えると、どこかに集約するのか、民間に委託するのか検討する必要がある。

市長) 費用面では、1プール当たり約2億円が必要である。40年維持できると仮定し、400人程度の規模の学校であれば費用面での損益はない。築40年以上でも民間のプールが近くにない地域もある。民間プールの活用は、三重県ではやっていないので先進的な取組となる。民間プールのメリットは、天候に左右されずに授業ができることである。一番議論になるのは、地区水泳の問題になると思う。大規模校においては、3割程度の参加者しかなく、保護者への意向確認は必要であると思う。

委員) 夏休みは、学童保育の児童も利用している。地区水泳がなくなってしまった場合、学童の子どもたちも使えなくなってしまう。

委員) プールの老朽化と水泳授業の内容の充実が挙げられる。数年前から、民間事業者が社会貢献の一環で小学生をプールに招いて専門的な指導をいただいている。その内容が充実しており、これからは学校の授業の質の充実が求められている。

地区水泳は学校の授業ではないが、今後、規模縮小するなかで、子どもの声を聞く必要があるのではないか。

市長) この場で結論を出すわけではないが、幅広く声を聞くことが必要だと思う。モデル校の設置も検討していきたい。また着衣水泳などの専門的なことも必要で、全校で実施してほしい。

委員) 学校教育では水泳も必要な授業である。大規模校ほど地区水泳への参加が少ないが、健康づくりの観点も視野に入れてほしい。

市長) では次に、教室へのエアコン設置についてご意見をいただきたい。この件については、平成 29 年度にある程度の方角性を出すことを視野に入れており、調査費用を 11 月補正として議会に上程している。西中学校へ天井に断熱シート、窓に遮熱シートを張る。これによって室内気温はどう変化するのか、効果をはかってみたい。エアコンを導入した自治体では、夏休みに補習授業を充てている自治体もある。

エアコンの導入にあたっては、アンケート調査が必要だと思っている。しかし、効果はかれるのか疑問であり、学力向上にどこまで寄与できるのか、いろいろなことを検討する必要がある。

また、トイレの改修についてもご意見をいただきたい。洋式トイレに改修してほしいという声をいただいている。小学校に入学するとき、和式での練習をしてから入学しなければならない。この件についてもご意見をいただきたい。

委員) 鎌田中学校は H32 年 4 月から供用開始となるが、素晴らしい学校になる。エアコンもトイレも設置していただく。夏場の過ごし方として、図書館の快適な環境の中で勉強できるので利用率が高くなる。エアコンが完備されたら、地域の方が夏休みに支援できる環境になる。地域の人も積極的に支援できると思う。コミュニティの交流の場に生徒も集まれ、素晴らしい環境になる。それが学力向上につながることを期待している。

委員) 近年、生活様式が変わってきている。同じようなことが学校にも求められている。保護者としては、夏休みに家でゴロゴロされるよりも、学校へ行かせたい気持ちもあり、環境を整えてあげてほしいが、設置費の高騰やランニングコストがかかることが懸念される。

委員) 夏休みに図書館を開放している。エアコンが設置された涼しい部屋で勉強することで効率が上がり、学力向上につながるのではないかと。体温調節は低学年には難しい。それを考えると必要だと感じる。練習してまでトイレに行かなければならないことに疑問を感じる。トイレはなるべく洋式に変えてほしい。

事務局) 小学校では約 3 割、中学校では約 2 割が洋式トイレになっている。各階で一つは洋式にしていくことで取り組んでいる。改築の学校においては、すべてを洋式にするのではなく、和式の必要性もあり、一部設けていく。

委員) 毎年、最高気温を更新している状況にあり、エアコンの必要性は感じていると思う。夏休みは何のためにあるのか。暑い時期に勉強に集中できないから長期休暇があるのではないのか。エアコンが入れば学業に専念してほしい。夏季休暇を短くすれば、休

み明けの不登校も減るのではないか。ただ、エアコンを効かせすぎてしまう懸念や、エアコンが苦手な子どももいる。誰が温度管理をするのかなど、決めておかないといけない。

委員) エアコンは集中管理が良いと思う。エアコンが苦手な子どももいることを認識してほしい。

委員) 夏休みの意義は、子どもを地域・家庭に返す時期である。学校だけでなく、地域や家庭で育てる時期である。学校が涼しくなったから夏休みがなくなることはありえない。夏休みの補習授業など、暑いので子どもたちの参加が少ない。環境を整えば参加者が増えるのではないか。体育の授業の後、汗だくで授業を受けるよりも、体温を少し下げることによって学習に対する切り替えができると思う。

市長) そろそろ終了時刻が近付いてきたが、他に意見はありませんか。ないようですので、その他の項で事務局から連絡はありますか。

事務局) 次回開催は未定ですが、緊急を要する案件が発生しましたら随時開催させていただきます。開催日程については、おって連絡させていただきます。

市長) では、これにて平成 28 年度第 1 回松阪市総合教育会議を閉会する。
本日は誠にありがとうございました。

《16 時 25 分 終了》